平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年１月30日

上場会社名　　東芝テック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6588　　ＵＲＬ　http://www.toshibatec.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　取締役社長　　（氏名）鈴木　護
問合せ先責任者　（役職名）経営企画部　広報・調査室長　（氏名）深沢　宣夫　　ＴＥＬ　03-6830-9151
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	284,486	10.3	11,880	74.5	11,494	141.7	4,845	287.5
24年３月期第３四半期	258,004	△4.2	6,808	△36.3	4,754	△39.5	1,250	△79.2

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　14,746百万円（－%）　24年３月期第３四半期　△3,576百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	17.66	17.63
24年３月期第３四半期	4.55	4.55

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	354,212	164,584	39.7
24年３月期	276,435	139,732	46.9

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　140,503百万円　24年３月期　129,573百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	3.00	－	4.00	7.00
25年３月期	－	4.00	－		
25年３月期（予想）				4.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	16.9	17,000	57.0	15,000	67.9	6,000	133.8	21.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　有

新規　3社　（社名）　東芝グローバルコマースソリューション・ホールディングス株式会社（日本）
東芝グローバルコマースソリューション社（米国）
東芝グローバルコマースソリューション・メキシコ社（メキシコ）

除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	288,145,704株	24年３月期	288,145,704株
② 期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	13,819,894株	24年３月期	13,839,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	274,324,401株	24年３月期３Ｑ	274,263,254株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

平成25年３月期第３四半期連結累計期間の世界経済は、欧州において債務問題の長期化により景気が悪化するとともに、米国では本格的な景気回復には至らず、アジアでは総じて景気拡大テンポが鈍化いたしました。また、日本経済は、復興需要による下支えはありましたが、輸出及び個人消費が低迷したことなどから、景気は後退いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループは「ソリューション・サービスによる成長」の実現を目指して、事業規模の拡大に努めるとともに、国内外においてリソースや資産の効率化に努めることにより、収益力の更なる向上に鋭意努めてまいりました。

また、当社は、リテールソリューション市場において、高水準の商品・ソリューションをグローバルに展開するリテールＰＯＳシステムのリーディング・カンパニーとなることを企図し、平成24年８月１日付にて、International Business Machines Corporation（ＩＢＭ）から同社のリテール・ストア・ソリューション（ＲＳＳ）事業を譲受けました。

連結業績につきましては、システムソリューション事業が好調に推移したことやＩＢＭよりＲＳＳ事業を譲受けたことなどから、売上高は前年同期比10%増の2,844億86百万円、営業利益は前年同期比75%増の118億80百万円、経常利益は前年同期比142%増の114億94百万円、四半期純利益は前年同期比288%増の48億45百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの状況は、次のとおりであります。

システムソリューション事業

国内市場向けＰＯＳシステム、複合機、オートＩＤシステム及びその関連商品等を取り扱っているシステムソリューション事業は、主力市場である流通小売業の業績が伸び悩むとともに競合他社との競争激化が続く厳しい事業環境の中で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発、主力・注力商品の拡販、エリア・マーケティングの推進、コスト競争力強化等による収益体質強化等に鋭意注力いたしました。

ストア・オートメーション及びファクトリー・オートメーション市場向けにビジネスを展開しているリテール事業では、コンビニエンスストア向け及び専門店・飲食店向けＰＯＳシステムが伸長し、オートＩＤシステムも堅調に推移したことなどから、売上は増加いたしました。

オフィス・オートメーション市場向けにビジネスを展開しているオフィス事業では、依然として厳しい価格競争が続きましたが、カラー複合機の販売台数の増加やリテール市場への拡販などから、売上は増加いたしました。

この結果、システムソリューション事業の売上高は、前年同期比７%増の1,317億23百万円となりました。また、同事業の営業利益は、前年同期比92%増の59億53百万円となりました。

グローバルソリューション事業

海外市場向け複合機、ＰＯＳシステム、オートＩＤシステム、プリンタ及びその関連商品並びにインクジェットヘッド等を取り扱っているグローバルソリューション事業は、世界経済低迷による市況悪化に伴う競合他社との価格競争激化が続く厳しい事業環境の中で、戦略的新商品の投入・拡販、新規事業領域・販路・顧客の開拓及びアライアンス戦略の推進による拡販等に鋭意注力いたしました。

米州市場では、既存のＰＯＳシステム及びオートＩＤシステムが伸長したことや、ＩＢＭよりＲＳＳ事業を譲受けたことから、売上は増加いたしました。

欧州市場では、市況悪化に伴う需要減少の影響などから既存事業の売上は総じて減少しましたが、ＩＢＭよりＲＳＳ事業を譲受けたことから、売上は増加いたしました。

アジア・その他の市場では、中国における市況悪化の影響などから既存事業の売上は総じて減少しましたが、ＩＢＭよりＲＳＳ事業を譲受けたことから、売上は前年同期並みとなりました。

ＯＤＭ事業は、新規顧客向けの決済端末が伸長したことなどから、売上は増加いたしました。

インクジェットヘッド事業は、国内向け販売は増加しましたが、海外向け販売が減少したことから、売上は減少いたしました。

この結果、グローバルソリューション事業の売上高は、前年同期比12%増の1,616億75百万円となりました。また、同事業の営業利益は、前年同期比60%増の59億27百万円となりました。

（注）① オートＩＤシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ＩＣタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。
② ＯＤＭとは、顧客ブランド製品の設計・製造を行うことをいいます。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ777億76百万円増加し3,542億12百万円となりました。これは主にＩＢＭのＲＳＳ事業譲受に伴い、取得対価の一部支払として「現金及び預金」及び「グループ預け金」が合わせて243億７百万円減少し、のれん及び知的財産等として「無形固定資産」が743億42百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ529億23百万円増加し1,896億27百万円となりました。これは主にＩＢＭのＲＳＳ事業譲受に伴い、取得対価の一部未払金として流動負債の「その他」が285億26百万円及び「支払手形及び買掛金」が114億44百万円増加したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ248億52百万円増加し1,645億84百万円となりました。これは主にＩＢＭのＲＳＳ事業譲受に伴い持株会社を日本に設立しており、ＩＢＭとの共同出資により持株会社の「少数株主持分」が138億89百万円及び「為替換算調整勘定」が81億16百万円増加したことなどによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月１日の平成25年３月期第２四半期決算発表時の予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結累計期間において、東芝グローバルコマースソリューション・ホールディングス株式会社（日本）、東芝グローバルコマースソリューション社（米国）、東芝グローバルコマースソリューション・メキシコ社（メキシコ）で新たに事業を開始したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,007	29,662
グループ預け金	65,951	31,988
受取手形及び売掛金	56,816	62,469
商品及び製品	22,380	29,287
仕掛品	3,467	3,530
原材料及び貯蔵品	5,909	6,054
その他	19,071	32,589
貸倒引当金	△1,253	△1,205
流動資産合計	192,352	194,377
固定資産		
有形固定資産	30,527	30,531
無形固定資産		
のれん	16,852	44,127
その他	5,745	52,812
無形固定資産合計	22,598	96,940
投資その他の資産		
その他	31,200	32,406
貸倒引当金	△242	△247
投資その他の資産合計	30,957	32,159
固定資産合計	84,083	159,632
繰延資産	―	202
資産合計	276,435	354,212

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,995	58,439
短期借入金	1,929	4,190
未払法人税等	1,634	3,893
その他	46,615	75,141
流動負債合計	97,174	141,665
固定負債		
長期借入金	0	―
退職給付引当金	36,404	38,382
その他	3,123	9,579
固定負債合計	39,529	47,962
負債合計	136,703	189,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,970	39,970
資本剰余金	52,985	52,984
利益剰余金	56,466	59,116
自己株式	△5,629	△5,620
株主資本合計	143,793	146,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341	485
繰延ヘッジ損益	―	△4
為替換算調整勘定	△14,498	△6,382
最小年金負債調整額	△62	△46
その他の包括利益累計額合計	△14,219	△5,947
新株予約権	112	145
少数株主持分	10,045	23,935
純資産合計	139,732	164,584
負債純資産合計	276,435	354,212

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
売上高	258,004	284,486
売上原価	135,075	154,295
売上総利益	122,928	130,191
販売費及び一般管理費	116,120	118,310
営業利益	6,808	11,880
営業外収益		
受取利息	293	219
受取配当金	30	35
投資有価証券売却益	10	―
デリバティブ評価益	159	―
為替差益	―	365
その他	206	239
営業外収益合計	699	860
営業外費用		
支払利息	482	345
固定資産除売却損	―	66
デリバティブ評価損	―	289
為替差損	1,609	―
その他	660	544
営業外費用合計	2,753	1,246
経常利益	4,754	11,494
特別利益		
転籍関連費用戻入益	588	―
特別利益合計	588	―
特別損失		
事業構造改革費用	255	1,555
退職給付費用	308	―
特別損失合計	563	1,555
税金等調整前四半期純利益	4,779	9,939
法人税等	3,764	5,127
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015	4,811
少数株主損失（△）	△234	△33
四半期純利益	1,250	4,845

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,015	4,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	145
繰延ヘッジ損益	11	△4
為替換算調整勘定	△4,535	9,761
最小年金負債調整額	10	32
その他の包括利益合計	△4,591	9,934
四半期包括利益	△3,576	14,746
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,750	13,117
少数株主に係る四半期包括利益	△825	1,628

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	システムソリューション	グローバルソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	121,455	136,549	258,004	－	258,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,509	7,430	8,939	(8,939)	－
計	122,964	143,979	266,943	(8,939)	258,004
セグメント利益	3,094	3,714	6,808	－	6,808

（注）１．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額89億39百万円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	システムソリューション	グローバルソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130,535	153,951	284,486	－	284,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,188	7,724	8,913	(8,913)	－
計	131,723	161,675	293,399	(8,913)	284,486
セグメント利益	5,953	5,927	11,880	－	11,880

（注）１．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額89億13百万円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．「グローバルソリューション」セグメントにおいて平成24年８月１日付でＩＢＭのＲＳＳ事業の譲受を実行いたしました。これに伴い、日本に持株会社を設立するとともに、米国をはじめとする各国・地域に事業会社及びその支店を設立し、41の国・地域において順次事業を開始いたしました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「グローバルソリューション」セグメントにおいて1,139億99百万円増加しております。又、上記の国・地域以外についても、準備が整い次第、順次事業を開始して行く予定であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

上記、（注）３に記載されている41の国・地域について、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間の暫定的に算定されたのれんの増加額は293億59百万円であります。のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、総額は未確定であります。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。